平成29年3月 第1回佐々町議会定例会 会議録（3日目）

1. 招集年月日 平成29年3月7日（火曜日） 午前10時00分

2. 場 所 佐々町役場 3階 議場

3. 開 議 平成29年3月9日（木曜日） 午前10時00分

4. 出席議員（10名）

議席番号	氏 名	議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
1	福田喜義君	2	阿部豊君	3	寺崎俊男君
4	永安文男君	5	橋本義雄君	6	平田康範君
7	須藤敏規君	8	淡田邦夫君	9	仲村吉博君
10	西日出海君				

5. 欠席議員（なし）

6. 法第121条による説明のための出席者職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
町 長	古庄剛君	副 町 長	大瀬忠昭君	教 育 長	黒川雅孝君
総務理事 兼企画財政課長	浦田純一君	総務課長	川内野勉君	住民福祉課長	大平弘明君
税務課長	内田明文君	保険環境課長	川崎順二君	建設課長	松本孝雄君
水道課長	山本勝憲君	産業経済課長 兼農業委員会事務局長	今道晋次君	教育次長	水本淳一君
会計管理者	谷添正人君				

7. 職務のための出席者職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
議会事務局長	中村義治君	議会事務局長補佐	松本典子君

8. 本日の会議に付した案件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 議案第20号 平成28年度 佐々町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 日程第3 議案第21号 平成28年度 佐々町介護保険特別会計補正予算（第4号）
- 日程第4 議案第22号 平成28年度 佐々町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 日程第5 議案第23号 平成28年度 佐々町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）
- 日程第6 議案第24号 平成28年度 佐々町公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）
- 日程第7 議案第25号 平成29年度 佐々町一般会計予算

- 日程第8 議案第26号 平成29年度 佐々町国民健康保険特別会計予算
- 日程第9 議案第27号 平成29年度 佐々町介護保険特別会計予算
- 日程第10 議案第28号 平成29年度 佐々町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第11 議案第29号 平成29年度 佐々町国民健康保険診療所特別会計予算
- 日程第12 議案第30号 平成29年度 佐々町公共下水道事業特別会計予算
- 日程第13 議案第31号 平成29年度 佐々町農業集落排水事業特別会計予算
- 日程第14 議案第32号 平成29年度 佐々町水道事業会計予算

9. 審議の経過

(10時00分 開議)

— 開議 —

議 長（西 日出海 君）

おはようございます。本日は、平成29年3月第1回佐々町議会定例会、本会議の3日目です。
本日の出席議員は全員出席です。
これから本日の会議を開きます。

— 日程第1 会議録署名議員の指名 —

議 長（西 日出海 君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。本日の会議録署名議員は会議規則の規定によ
って、5番、橋本義雄君、6番、平田康範君を指名します。
これから、議案の上程を昨日に引き続き行います。質疑、討論、採決の順で進めていきます。

— 日程第2 議案第20号 平成28年度佐々町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） —

議 長（西 日出海 君）

日程第2、議案第20号 平成28年度佐々町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）を議題
とします。
執行の説明を求めます。町長。

町 長（古庄 剛 君）

（議案第20号 朗読）

中身につきましては、保険環境課長をもって説明させますので、よろしくお願ひ申しあげま
す。

議 長（西 日出海 君）

保険環境課長。

保険環境課長（川崎 順二 君）

それでは、議案第20号の説明をさせていただきます。
補正予算書の1、2ページをお開きください。

第 1 表歳入歳出予算補正、歳入。

1 款国民健康保険税、補正額 394 万円、計 2 億 7,881 万 3,000 円。1 項国民健康保険税、補正額、計ともに同額でございます。

2 款使用料及び手数料、補正額減額 1 万円、計 26 万円。1 項手数料、補正額、計ともに同額でございます。

3 款国庫支出金、補正額減額 3,759 万 2,000 円、計 3 億 6,249 万円。1 項国庫負担金、補正額減額 2,274 万 4,000 円、計 2 億 4,933 万 8,000 円。2 項国庫補助金、補正額減額 1,484 万 8,000 円、計 1 億 1,315 万 2,000 円。

4 款療養給付費交付金、補正額減額 266 万 2,000 円、計 3,960 万 3,000 円。1 項療養給付費交付金、補正額、計ともに同額でございます。

6 款県支出金、補正額減額 3,760 万 4,000 円、計 1 億 2,198 万円。1 項県負担金、補正額減額 6 万 6,000 円、計 1,051 万 8,000 円。2 項県補助金、補正額減額 3,753 万 8,000 円、計 1 億 1,146 万 2,000 円。

7 款共同事業交付金、補正額減額 270 万 5,000 円、計 3 億 4,829 万 5,000 円。1 項共同事業交付金、補正額、計ともに同額でございます。

11 款諸収入、補正額 202 万 6,000 円、計 383 万 1,000 円。1 項延滞金、補正額 197 万 9,000 円、計 198 万円。3 項雑入、補正額 4 万 7,000 円、計 185 万円。

歳入合計、補正額減額 7,460 万 7,000 円、計 17 億 2,924 万 3,000 円。

続きまして、歳出です。

1 款総務費、補正額減額 7 万円、計 778 万 1,000 円。1 項総務管理費、補正額ゼロ、計 532 万 1,000 円。2 項徴税費、補正額ゼロ、計 238 万 8,000 円。3 項運営協議会費、補正額減額 7 万円、計 7 万 2,000 円。

2 款保険給付費、補正額減額 4,480 万円、計 10 億 828 万円、1 項療養諸費、補正額減額 3,600 万円、計 8 億 7,297 万 3,000 円、2 項高額療養費、補正額減額 880 万円、計 1 億 2,640 万円。

5 款後期高齢者支援金、補正額ゼロ、計 1 億 8,062 万 6,000 円、1 項後期高齢者支援金、補正額、計ともに同額でございます。

6 款介護納付金、補正額ゼロ、計 6,460 万 1,000 円、1 項介護納付金、補正額、計ともに同額でございます。

7 款共同事業拠出金、補正額減額 1,738 万 7,000 円、計 3 億 9,814 万 3,000 円、1 項共同事業拠出金、補正額、計ともに同額でございます。

8 款保健事業費、補正額減額 97 万 7,000 円、計 1,884 万 8,000 円、1 項保健事業費、補正額、計ともに同額でございます。

12 款予備費、補正額減額 1,137 万 3,000 円、計 1,598 万 5,000 円、1 項予備費、補正額、計ともに同額でございます。

歳出合計、補正額減額 7,460 万 7,000 円、計 17 億 2,924 万 3,000 円。

続きまして、めくっていただきまして 3 ページ目です。

歳入歳出補正予算事項別明細書、1、総括につきましては割愛させていただきます。

それでは、まず歳入からです。4 ページ目をお開きください。

1 款国民健康保険税ですが、全体で 394 万円の増額になっております。これは実績見込みによるものでございます。

5 ページをお開きください。

3 款 1 項 1 目療養給付費負担金 2,267 万 8,000 円の減額です。当初予算につきましては、前年の負担見込み額に基づく概算での計上をしておりました。今回、3 月から 2 月の診療実績見込みにより再算定をしまして減額となっております。

6 ページです。

3 款 2 項 1 目財政調整交付金1,484万8,000円の減額です。1 節普通調整交付金1,897万7,000 円の減額です。医療実績見込みによる算定での交付となりますが、医療費の実績見込みが減となっておりまして交付金自体も減額となっております。2 節特別調整交付金412万9,000円の増額です。これは算定によります実績見込みでございます。

次に、4 款 1 項 1 目療養給付費交付金266万2,000円の減額です。退職者医療に係る交付金の交付見込みによるものです。

7 ページをお開きください。

6 款 2 項 1 目財政調整交付金3,753万8,000円の減額です。1 節普通調整交付金1,836万8,000 円の減額です。この医療費実績見込みによる算定の交付となりますので、医療費の実績見込みが減となっております、減額となっております。2 節特別調整交付金1,917万円の減額です。当初、概算で計上しておりましたので、算定によります実績見込みによるものです。

7 款 1 項 1 目高額医療費共同事業交付金692万8,000円の減額です。これは前年12月から当年11月の1 件当たり80万円を超える医療費で算定され、交付されるものですので、交付決定によりまして、今回の減額となっております。

2 目保険財政共同安定化事業交付金422万3,000円の増額です。これにつきましても、交付決定によります増額となっております。

続きまして、歳出でございます。

9 ページ、10 ページ目をお開きください。10 ページをお願いいたします。

2 款 1 項療養諸費3,600万円の減額です。それから、同じく 2 款 2 項高額療養費880万円の減額です。これは、支払い見込みによる減額となっております。

11 ページ目をお開きください。

7 款 1 項 2 目保険財政共同安定化事業拠出金1,712万3,000円の減額です。これも前年12月から当年11月の1 件当たり80万円以下の医療費で算定されますので、その拠出金額が決定したということでの補正でございます。

続きまして、12 ページ目ですが、保険事業関係での決算見込みによる減額です。

以上、説明を終わります。よろしく申し上げます。

議 長（西 日出海 君）

これから質疑を行います。9 番。

9 番（仲村 吉博 君）

2 点ほどお伺いいたします。

まず、全体的にお伺いするんですが、補正前の予算総額に比べて補正額が極めて大きいんです。それで、国民健康保険というのは、やっぱり町民の健康状態と密接な関係がある保険財政であるわけですので、このことを喜ぶべきことなのかどうなのかということ、まず第 1 点お尋ねいたします。

それから、これは貸借上の分に理解ができないものですので、お尋ねいたします。1 ページにかかわってです。国民健康保険税が増額補正されて、そして雑収入で延滞金がここも増額補正されてるということなんですが、内訳見ると、国民健康保険税のこのところでは、延滞分、繰越分は減額補正されて、現年課税分が増額補正されてるということは、ここに出てくる保険税は、現年度分だろうと思うんですが、それから見ると、延滞分というのは、延滞金が雑収入で余計増額補正されているというのは、私の頭の中でよく理解できないので、このことについてつながりがあるのかどうなのか、ないのかどうなのかについてお尋ねをいたします。その 2 点です。

議長（西 日出海 君）

保険環境課長。

保険環境課長（川崎 順二 君）

まず 1 点目の全体的に減額となっていることで、喜ぶべきかどうかということでございますけれども、ここでそのものにつきましては、減額はちょっとどうかということもありますが、今回、総額では増額となっております。

医療費自体が減額となっておりますので、これから見ると町民の方の国保の方の健康が保たれたということにとれるのかなというふうに思います。

今回、特に高額医療での費用というのが若干減になっておりますので、この分を見ますと、重病の方が減少しているのかなということが読み取れるのかなというふうに思っております。

そういう観点から見ますと、喜ぶべきことかというふうに思っております。

それから、2 点目の延滞金の関係でございますが、延滞金とその収納の関係でございますけれども、延滞金につきましては、全体の 443 件の延滞金をいただいております。滞納分について 432 件ということになっておりますが、この分、現年度の国保税が伸びておりますのは、法定をしました後に 1 回補正をさせていただいております。その後に住民の出入り等がございます。あと、社会保険の離脱、それから社会保険に加入での国保の離脱等がございます。その兼ね合いで保険税そのものの調定が伸びているという状況でございますので、それに伴いまして、予算額も増額させていただいたということでございます。

それから、滞納分につきましては、当初、予定計上しておりました滞納分につきまして、年度が変わることでの前年度分の滞納分を加算しましたときに滞納額が増加しているところでございまして、これで徴収率、当初 25% 程度で計上させていただいたところなんですけれども、今回、その徴収の努力不足の部分もあったかと思っておりますけれども、21% 程度で決算を迎えるんじゃないかということで減額をさせていただいたところでございます。

また、当滞納分につきましては、あとしばらく 3 月末までありますので、この間、ちょっと力を入れて徴収に取り組んでいきたいというふうに思っております。

以上です。

議長（西 日出海 君）

9 番。

9 番（仲村 吉博 君）

そうすると、医療給付費を減額しているというのは町民の健康状態、あるいは高額医療がそれだけ減ってきているというか、少なくて済んだということなんで、喜ぶべきことだというように答弁をいただきましたが、それでは、この 1 年、ほぼ 1 年の間に佐々町としてどういう対策をすることがこの成果に結びついたのか、これは当然、決算の時点でも検証、そして発表されると思いますが、今の時点でどのようにお考えなのかお伺いしておきたいと思っております。

それからいま一つ、そうするとこの延滞金の雑収の増加分の原因というのは、今ある分じゃなくて、過去まだ減額補正はしてるけれども、延滞金を徴収するべき税のもとになる原資というのは、そのことに基づいて、この延滞金を徴収強化によって、延滞金の雑収を得ることができるといことなんだと思っておりますが、そういう理解でよろしいでしょうか。増加の分については、また別の原因があるということと理解をいたしましたんですが、その理解でいいのかどうかについて確認をしたいと思っております。

議 長（西 日出海 君）

保険環境課長。

保険環境課長（川崎 順二 君）

すいません。1 点目のこの 1 年間、どういった対策を講じてきたかということでございますけれども、なかなか難しいことなのですが、御承知のとおり、健康センターのほうで住民の健診を行っております。それと、国保につきましては、特に特定健診に力を入れてやっておるといいう状況でございます。その関係もございまして、御承知のとおり、健康センターで行っているがん検診等については受診率が高いという状況でございますので、その受診をされて、早期の発見をされた方々が早期に受診をされて、重病に至らずに済んでいるという長期的なところで結果が出てきたのではないかとこのように思っているところでございます。

それから、特定健診につきましては、特に、今回力を入れるということでやっております、未受診者については受診の勧奨をしまして、受けていただいて健康を意識していただくということで力を入れてるところでございます。これにつきましては、単年度で結果というのは出てこないと思いますので、複数年続けて、住民の皆さんの健康の意識を高めていっていただきたいということで、そのことが医療費の抑制につながっていくのではないかとこのように思っております。

それから、延滞金につきましては、延滞金の原資となるべきものという滞納分のことにつきましては、まだありますので、滞納処分、滞納分の徴収をすることで延滞金というのが発生してきますので、金額的にまだ延滞金としては発生するということになります。

それから、すいません。以上です。

議 長（西 日出海 君）

9 番。

9 番（仲村 吉博 君）

延滞金のことについて、徴収強化ということをして1 問目の質問のときの答弁としていただきましたが、具体的に、今、少しちらっと滞納処分というようなこともおっしゃったんですが、具体的にどういう方法でなさるのかということと、それと、徴収強化ということもあるんですが、基本的にはやっぱり国民健康保険は町民に医療を保障するという制度であるわけですので、そのことで、実際には健康保険の交付等についてがどのようになっているかということについて、これは引き続き当初予算のときにお尋ねするお話をいたしましても、この補正予算にかかわって、延滞金の徴収強化ということで答弁されましたので、具体的にどういうことになさるのか、私としてはやっぱり直接的に町民の実態に即した徴収を進めてほしいという希望を持っておりますけれども、そのあたりについてどのようにお考えなのかということをお尋ねしたいと思っております。

それから、こういうふうに町民の健康が、少なくともいい状態が保たれつつあるという御認識のようですが、私もそのことについては同意見でありまして、現場の担当者部署の努力、積年にわたる努力の結果だろうということについては同意するところでありますが、徴収のことについて、いま一つお尋ねをいたしたいと思っております。

議 長（西 日出海 君）

保険環境課長。

保険環境課長（川崎 順二 君）

徴収につきましては、まず、現年度をためさせないようにするというところで取り組んでおります。というのも、現年度を複数月ためていきますと、なかなか支払いも厳しくなっていくというのもございますので、早目に遅れがあれば納付を促すというところからまず始めております。

それから、滞納分につきましては、当然、いきなり一方的にいろんな処置をするということではございませんので、滞納者の方と相談、お話をしながら、納税していただくような形で促しているところでございます。

以上です。

議 長（西 日出海 君）

ほか、ありませんか。いいですか。8 番。

8 番（淡田 邦夫 君）

1 件だけお伺いいたします。

行政、それから健康センター、職員の皆さんの努力によって、受診率、健康センターの受診率というのは県内で最高と思うんですけども、これは歳出において、例えば受診率は最高なんですけども、歳出において、他の市町村と比べた場合に 1 人当たり、どのような結果になっておるのか、もしもわかればお知らせしていただきたいと思います。

議 長（西 日出海 君）

保険環境課長。

保険環境課長（川崎 順二 君）

すいません。他の市町との比較、受診率の比較。すいません。県内の全市町の 1 人当たり医療費というのは出てはいるんですが、全部読み上げるとあれですので、佐々町。一応、平成 25 年度の統計が出ておまして、佐々町としては 32 万 4, 489 円で、市町の合計が 37 万 7, 207 円ということで、長崎県の平均が 36 万 7, 374 円ということでございますので、全体的に見て、平均より低い値とはなっておりますが、それぞれの金額等については、後もってお示しさせていただければということで思っております。

議 長（西 日出海 君）

8 番。

8 番（淡田 邦夫 君）

今、先ほど言いましたけれども、長崎県で最高の受診率、これだけ数字を見ておりますと、それなりの成果があるということで思いますので、今後、そういういろんなことで努力されておりますけども、なお一層の受診をいうことをお願いしてかえさせていただきます。

議 長（西 日出海 君）

ほかありませんか。

（「なし。」の声あり）

ないようですので、質疑を終わります。

これから討論を行います。

（「なし。」の声あり）

討論もないようですので、討論を終わります。

これから採決を行います。

議案第20号 平成28年度佐々町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）は、原案のとおり可決することに異議ありませんか。

（「異議なし。」の声あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

— 日程第 3 議案第21号 平成28年度佐々町介護保険特別会計補正予算（第4号） —

議 長（西 日出海 君）

日程第3、議案第21号

平成28年度佐々町介護保険特別会計補正予算（第4号）を議題とします。

執行の説明を求めます。町長。

町 長（古庄 剛 君）

（議案第21号 朗読）

中身につきましては、住民福祉課長をもって説明させますので、よろしく願い申しあげます。

議 長（西 日出海 君）

住民福祉課長。

住民福祉課長（大平 弘明 君）

住民福祉課長。それでは、議案第21号の説明をさせていただきます。

1 ページをお願いいたします。

第1表歳入歳出予算補正（保険事業勘定）。

歳入、1款保険料、補正額1,247万1,000円、計2億4,976万1,000円、1項介護保険料、補正額、計ともに同額です。

2款使用料及び手数料、補正額減額の9万4,000円、計103万6,000円、1項手数料、補正額、計ともに同額です。

3款国庫支出金、補正額減額の1,073万8,000円、計2億3,427万5,000円、1項国庫負担金、補正額減額の272万8,000円、計1億7,146万4,000円、2項国庫補助金、補正額減額の801万円、計6,281万1,000円。

4款支払基金交付金、補正額減額の1,277万4,000円、計2億7,490万5,000円、1項支払基金交付金、補正額、計ともに同額です。

5款県支出金、補正額54万4,000円、計1億5,780万6,000円、1項県負担金、補正額25万4,000円、計1億5,193万6,000円、2項県補助金、補正額29万円、計587万円。

6款繰入金、補正額減額の192万6,000円、計1億4,478万2,000円、1項一般会計繰入金、補

正額減額の192万6,000円、計1億4,478万1,000円。

8 款諸収入、補正額減額の1万6,000円、計4万2,000円、3 項雑入、補正額減額の1万6,000円、計3万9,000円。

9 款財産収入、補正額7,000円、計2万円、1 項財産運用収入、補正額、計ともに同額です。

歳入合計、補正額減額の1,252万6,000円、計11億2,299万円。

続きまして、2 ページの歳出です。

1 款総務費、補正額ゼロ、計1,311万6,000円、1 項総務管理費、補正額ゼロ、計202万5,000円、3 項介護認定審査会費、補正額ゼロ、計1,043万9,000円。

2 款保険給付費、補正額減額の1,455万円、計9億8,811万9,000円、1 項介護サービス等諸費、補正額減額の1,335万円、計8億7,579万8,000円、2 項介護予防サービス等諸費、補正額減額の120万円、計3,027万円、3 項その他諸費、補正額ゼロ、計80万円、4 項高額介護サービス等費、補正額ゼロ、計2,610万円、5 項高額医療合算介護サービス等費、補正額ゼロ、計420万円、6 項特定入所者介護サービス等費、補正額ゼロ、計5,095万1,000円。

4 款基金積立金、補正額7,000円、計3,375万8,000円、1 項基金積立金、補正額、計ともに同額です。

5 款地域支援事業費、補正額減額の26万3,000円、計3,796万2,000円、1 項介護予防・生活支援サービス事業費、補正額減額の26万3,000円、計1,112万4,000円、2 項一般介護予防事業費、補正額ゼロ、計979万7,000円、3 項包括的支援事業・任意事業費、補正額ゼロ、計1,700万1,000円、4 項その他諸費、補正額ゼロ、計4万円。

8 款予備費、補正額228万円、計2,325万6,000円、1 項予備費、補正額、計ともに同額です。

歳出合計、補正額減額の1,252万6,000円、計11億2,299万円。

続きまして、3 ページをお願いいたします。

1 表歳入歳出予算補正（サービス事業勘定）。

歳入、1 款サービス収入、補正額減額の18万5,000円、計245万8,000円、1 項予防給付費収入、補正額、計ともに同額です。

歳入合計、補正額減額の18万5,000円、計516万9,000円。

歳出、1 款事業費、補正額ゼロ、計480万6,000円、1 項包括的支援事業費、補正額、計ともに同額です。

2 款予備費、補正額減額の18万5,000円、計36万3,000円、1 項予備費、補正額、計ともに同額です。

歳出合計、補正額減額の18万5,000円、計516万9,000円。

次のページの事項別明細書のほうは割愛させていただきます。

それでは、主な歳入歳出の補正につきまして、5 ページから説明をさせていただきます。

1 款 1 項 1 目 第 1 号被保険者保険料ですが、平成29年2月の決算見込みにより補正を行っております。全体で1,247万1,000円の増額補正です。内訳としましては、1 節の現年度分特別徴収保険料が1,647万6,000円の増額となっております。2 節の普通徴収保険料ですが、減額の425万6,000円となっております。主な内容は以上です。

続きまして、3 款 1 項 1 目の介護給付費から8 ページの6 款 1 項 1 目一般会計繰入金までは、国県支払い基金交付決定額によるものです。なお、決定額は歳出の介護給付費の実績に基づき、翌年度に精算を行うこととなります。

続きまして、9 ページをお願いいたします。

歳出のほうになります。

1 款 2 項 1 目一般管理費及び3 目認定調査費等については、歳入の補正による財源の組み替えとなっております。

続きまして、2 款 1 目介護サービス等諸費ですが、現段階における平成28年3月のサービス

利用料から平成28年11月サービス利用分の実績に基づき補正を行っております。主な内容としましては、地域密着型サービス事業所の当初、月平均1,000万で見込んでおりましたが、現在、900万程度で推移をしております。それに伴います減額となっております。

10ページをお願いいたします。

3目の施設介護サービス給付費については、実績を見込んでの減額となっております。

その他、6目の居宅介護サービス計画給付費から13ページまでは財源組み替えとなっております。歳入の国県負担金の交付決定によるもので、各項目の予算ごとに応じた財源組み替えを行っております。

続きまして、14ページをお願いいたします。

5款1項1目介護予防・生活支援サービス事業費の19節負担金です。介護予防生活支援サービス負担金の減額で26万3,000円を減額をさせていただいております。

それから、15ページにつきましては、こちらのほうも国県補助金の交付決定による予算の財源組み替えとなっております。

16ページの事項別明細書については割愛をさせていただきます。

17ページをお願いいたします。

1款1項1目居宅支援サービス費収入ですが、こちらはケアプラン作成に係る実績見込みによる補正になります。

18ページをお願いいたします。

こちらのほう、歳入の補正に伴う財源組み替えになります。

以上で介護保険特別会計の補正予算の説明を終わらせていただきます。よろしくお願いたします。

議 長（西 日出海 君）

これから質疑を行います。9番。

9 番（仲村 吉博 君）

1点だけお尋ねいたします。

1ページと2ページにかかわってなんですが、歳入歳出のところで、国庫支出金、それから支払基金交付金等が大幅に減額、あわせて保険給付費がこういった形で介護サービスと予防サービス等の事業ということで、減額補正、いずれもされているんですけども、内訳をいろいろ見ましたが、実態が見えないんです。ですから、こういった実態があって、こういった歳出減、歳入減をもたらしてきたのかということ、実態に即して詳細に説明をいただきたい。

議 長（西 日出海 君）

住民福祉課長。

住民福祉課長（大平 弘明 君）

住民福祉課長。議員御質問の件ですけれども、給付費につきましては、毎年利用者の状況に応じて変化がございます。今回、特に変化をしておりますこととしまして、施設入居者の方の死亡等により人員的な減、それからグループホーム等におけます居宅になりますけれども、こちらのほうも利用者等高齢になられている入居者につきましては、どうしてもお亡くなりになられるとか、そういうことによつての減になってきますけれども、今後はやはりまた利用者が増えていくとなると、給付費のほうが増えますので、そうしてきますと、歳入のほうも当然国県支払基金等の負担金、こういったものについても増えてくるということになります。なかなか見込みというもの難しいものでございまして、私たちは、どちらかという、介護予防、そ

ういったことについて力を入れていくことで、給付費を適正な状況に持っていければというふうに考えております。よろしくお願いいたします。

議 長（西 日出海 君）

いいですか。ほかありませんか。

（「なし。」の声あり）

ないようですので、質疑を終わります。
これから討論を行います。

（「なし。」の声あり）

ないようですので、討論を終わります。
これから採決を行います。

議案第21号 平成28年度佐々町介護保険特別会計補正予算（第4号）は、原案のとおり可決することに異議ありませんか。

（「異議なし。」の声あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

— 日程第 4 議案第22号 平成28年度佐々町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） —

議 長（西 日出海 君）

日程第4、議案第22号 平成28年度佐々町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）を議題とします。

執行の説明を求めます。町長。

町 長（古庄 剛 君）

（議案第22号 朗読）

中身につきましては、保険環境課長をもって説明させますので、よろしくお願い申し上げます。

議 長（西 日出海 君）

保険環境課長。

保険環境課長（川崎 順二 君）

保険環境課長。それでは、議案第22号の説明をさせていただきます。

めくっていただきまして1ページ目です。

第1表歳入歳出予算補正。

歳入、1款後期高齢者医療保険料、補正額131万円、計9,001万7,000円、1項後期高齢者医療保険料、補正額、計ともに増額でございます。

2 款使用料及び手数料、補正額 1 万 8,000 円、計 1 万 9,000 円、1 項手数料、補正額、計ともに同額でございます。

3 款繰入金、補正額減額 50 万 7,000 円、計 4,009 万 5,000 円、1 項一般会計繰入金、補正額、計ともに同額でございます。

5 款諸収入、補正額 3 万 6,000 円、計 4 万 2,000 円、2 項償還金及び還付加算金、補正額 3 万 6,000 円、計 3 万 8,000 円。

歳入合計、補正額 85 万 7,000 円、計 1 億 3,190 万 5,000 円。

歳出、1 款総務費、補正額ゼロ、計 137 万 5,000 円、2 項徴収費、補正額ゼロ、計 41 万 5,000 円。

2 款後期高齢者医療広域連合納付金、補正額 80 万 3,000 円、計 1 億 2,909 万 8,000 円、1 項後期高齢者医療広域連合納付金、補正額、計ともに同額でございます。

4 款予備費、補正額 5 万 4,000 円、計 133 万円、1 項予備費、補正額、計ともに同額でございます。

歳出合計、補正額 85 万 7,000 円、計 1 億 3,190 万 5,000 円。

2 ページの歳入歳出補正予算事項別明細書、1、総括につきましては割愛させていただきます。

それでは、中身を説明させていただきます。

3、4 ページをお開きください。

まず 3 ページ、歳入ですが、1 款 1 項後期高齢者医療保険料です。今回、決算見込みでの補正を行っております。

3 款 1 項一般会計繰入金、保険料軽減分の一般会計からの繰入金の減額 50 万 7,000 円です。これは、再算定によりまして減額を生じたために減額としております。

続きまして、4 ページ、歳出でございます。

2 款 1 項 1 目後期高齢者医療広域連合納付金 80 万 3,000 円の増額です。保険料分 131 万円の増、それから、保険基盤安定負担金分 50 万 7,000 円の減額でございます。

以上説明終わります。よろしく申し上げます。

議 長（西 日出海 君）

これから質疑を行います。

（「なし。」の声あり）

ないようですので、質疑を終わります。

これから討論を行います。

（「なし。」の声あり）

ないようですので、討論を終わります。

これから採決を行います。

議案第 22 号 平成 28 年度佐々町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）は、原案のとおり可決することに異議ありませんか。

（「異議なし。」の声あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これより10分間休憩いたします。11時より再開いたします。

(10時50分 休憩)

(11時01分 再開)

— 日程第 5 議案第23号 平成28年度佐々町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第 2 号） —

議 長（西 日出海 君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第 5、議案第23号 平成28年度佐々町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第 2 号）を議題とします。

執行の説明を求めます。町長

町 長（古庄 剛 君）

（議案第23号 朗読）

中身につきましては、保険環境課長をもって説明させますので、よろしくお願ひ申しあげます。

議 長（西 日出海 君）

保険環境課長。

保険環境課長（川崎 順二 君）

保険環境課長。それでは、議案第23号の説明をさせていただきます。

めくっていただきまして1ページ目です。

第1表歳入歳出予算補正、歳入。

1款診療収入、補正額減額6万1,000円、計119万9,000円。1項外来収入、補正額、計ともに同額でございます。

2款使用料及び手数料、補正額減額7,000円、計5万7,000円、1項手数料、補正額、計ともに同額でございます。

3款財産収入、補正額2,000円、計2万2,000円、1項財産運用収入、補正額、計ともに同額でございます。

歳入合計、補正額減額6万6,000円、計889万5,000円。

続きまして、歳出。

1款総務費、補正額3万円、計795万3,000円、1項施設管理費、補正額、計ともに同額でございます。

2款医業費、補正額減額9万8,000円、計27万1,000円、1項医業費、補正額、計ともに同額でございます。

3款基金積立金、補正額2,000円、計44万3,000円、1項基金積立金、補正額、計ともに同額でございます。

歳出合計、減額6万6,000円、計889万5,000円。

2ページ、歳入歳出補正予算事項別明細書、1、総括につきましては割愛させていただきます。

では、めくっていただきまして、3、4ページが歳入歳出となっております。

歳入につきましては、診療実績見込みによります補正となっております。
それから、4 ページ目、歳出につきましては、決算見込みによる補正となっております。
以上でございます。よろしくお願いいたします。

議 長（西 日出海 君）

これより質疑を行います。

（「なし。」の声あり）

質疑もないようですので、質疑を終わります。
これより討論を行います。

（「なし。」の声あり）

ないようですので、討論を終わります。
これから採決を行います。

議案第 23 号 平成 28 年度佐々町国民健康診療所特別会計補正予算（第 2 号）は原案のとおり
可決することに異議ありませんか。

（「異議なし。」の声あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

— 日程第 6 議案第 24 号 平成 28 年度佐々町公共下水道事業特別会計補正予算（第 5 号） —

議 長（西 日出海 君）

日程第 6、議案第 24 号 平成 28 年度佐々町公共下水道事業特別会計補正予算（第 5 号）を議
題とします。

執行の説明を求めます。町長。

町 長（古庄 剛 君）

（議案第 24 号 朗読）

中身につきましては、水道課長をもって説明させますので、よろしくお願い申し上げます。

議 長（西 日出海 君）

水道課長。

水道課長（山本 勝憲 君）

水道課長。それでは、議案第 24 号の説明をいたします。

1 ページをお願いいたします。

第 1 表歳入歳出予算補正、歳入。

3 款国庫支出金、補正額減額の 150 万円、計の 2,780 万円、1 項国庫補助金、補正額、計とも
同額です。

4 款繰入金、補正額減額の1,000万円、計の2億9,000万円、1 項一般会計繰入金、補正額、計とも同額です。

7 款町債、補正額減額の1,000万円、計の5,350万円、1 項町債、補正額、計とも同額でございます。

歳入合計、補正額減額の2,150万円、計の6億7,861万7,000円です。

歳出です。

1 款総務費、補正額減額の1,343万4,000円、計の2億3,582万3,000円、1 項総務管理費、補正額、計とも同額です。

2 款建設費、補正額減額の600万3,000円、計の7,741万7,000円、1 項建設費、補正額、計とも同額です。

4 款予備費、補正額減額の206万3,000円、計の1,435万2,000円、1 項予備費、補正額、計とも同額です。

歳出合計、補正額2,150万円の減額です。計の6億7,861万7,000円となっております。

第2表繰越明許費、2 款建設費、1 項建設費、事業名が公共下水道事業町道小浦浜線マンホール改良工事、金額が232万円でございます。こちらにつきましては、一般会計のほうで御説明がありましたけど、小浦地区の都市計画街路柵方崎真申線のトンネル工事が行われておりますが、それに関連しまして、県が町道小浦浜線の誘致企業入り口の部分の2カ所の改良工事を行っておりますが、今回、繰越をお願いしますこの工事につきましては、県の工事の発注遅れに基づきまして繰越を行うものでございます。よろしく願いいたします。

3 ページをお願いいたします。

第3表の地方債補正です。

起債の目的、（下水道事業債）公共下水道事業、限度額3,300万円、起債の方法、利率、償還方法については割愛いたします。

補正後の金額が、限度額2,440万円で860万円の減額となっております。

内訳といたしまして、汚水事業で610万円、雨水事業で1,830万円という形になっております。

続きまして、公営企業会計適用債公共下水道事業ということで、限度額が3,050万円を、補正後が2,910万円ということで140万円の減額となっております。こちらは、歳出のほうで御説明いたしますけど、固定資産調査評価業務分のそれに対応する起債の減額となっております。

続きまして、4 ページの事項別明細の総括のほうは割愛させていただきます。

5 ページをお願いいたします。

歳入でございます。

1 目の下水道事業費国庫補助金250万円の減額でございますが、これは実績による雨水事業の減額でございます。

7 款の町債につきましては、先ほど起債のところの説明したとおりでございます。

6 ページの歳出のほうをお願いいたします。

基本的に全部減額になっておりますんで、入札執行残や今後の執行を見込んだ中で減額させていただいております。

まず、1 目の総務管理費でございます。19節の負担金、補助及び交付金、共同排水施設整備補助金、こちらは皆減ということで、現時点では新設ございませんので、全て皆減させていただいております。

4 目の処理場管理費でございます。委託料でございますが、運転維持管理業務委託料につきましては、3年間の長期契約で入札執行残が出ておりますので、351万7,000円の減額とさせていただいております。あと、汚泥処理業務委託料でございますが、これは当初見込みより処理量の減、それと、当初見込んだ単価が減額になったと、見積もりで減額になったということで、減額処理させていただいております。

続きまして、すいません。7 ページをお願いいたします。

2 款の建設費でございます。1 目の下水道建設費につきましては、大体、取りつけ管の工事でございますが、執行を見込みまして、150 万円の減額をさせていただいております。

2 目の中央地区排水対策事業費の 13 節、15 節、委託料と工事請負費でございますが、工法等の変更によりまして、実績により減額させていただいております。よろしくをお願いいたします。以上です。

議 長（西 日出海 君）

これから質疑を行います。9 番。

9 番（仲村 吉博 君）

繰越明許についてお尋ねいたします。

県の工事の遅れというようなことで説明があったかと思いますが、予算計上から、そして県との工事の関係、時系列的にもう少し説明していただけないか。

そして、昨日ですか、町道の認定の変更の分がありましたけども、あの地図の上でトンネル工事との関係では、大体どういった位置に。これ移動かなんかですか。それとも設備を充実するために、能力アップのための改良なんでしょうか。改良工事というふうに書いてありますので、どういったのが、改良工事の中身、中身についてもう少し。だから 2 点ほど、時系列的に追っていきたいということと、それと中身としては能力アップのために改良工事にしたのか、施設の場所のところの改良なのかということについて説明をいただきたいと。

議 長（西 日出海 君）

水道課長。

水道課長（山本 勝憲 君）

2 ページの第 2 表の繰越明許費についての御質問だと思います。具体的な内容につきましては、先ほど言いましたように、誘致企業のほうの入り口が町道小浦浜線のところに 2 カ所ございます。正門のほうの入り口と従業員さんのほうの入り口ということで、今回、小浦浜線のマンホール改良工事につきましては、まず、県工事との関係がまず最初でした。すいません。県の工事のほうにつきましては、当初、計画では 10 月ごろ発注されるだろうということを聞いておりましたけど、その後、誘致企業との補償交渉等がちょっと長引きまして、それに伴いまして、県の発注が 12 月に遅れております。その絡みで、うちのほうが、県のほうがもともと先に、その時期に発注するというので、うちのほうはもう先に発注かけておまして、その後、具体的に言いますと、うちの工事が、先ほどの続きになりますけど、北側の従業員入り口にあるところのマンホール 3 カ所を改良する工事になります。これは、なぜ改良するかといいますと、今、歩道のほうにマンホールがございますが、その部分が車道のほうに行きますので、当然、マンホールの高さが車道より、歩道ですんで、車道に合わせますと、マンホールが上がってしまうような状態になります。その切り下げが必要という部分でその工事になります。県のほうが道路の改良を行いますので、当然、歩道の切り下げとか、企業さんのほうにあります植栽とか、フェンスとかなんかの移動は県のほうがされます。ですから、その移動されないと、うちのマンホールの工事ができないという形になりますので、ですから、県の工事が時期的に 10 月から 12 月に発注が遅れ、施工も 3 月にずれ込んだという形になります。うちのほうがかかれるのがもともととっと早くかかれるだろうということで、繰越は必要ないということで考えておりましたが、県のほうのそういう工事が遅れるという形になりましたので、うちのほうも最終的にはそこがかかれませんが、その分が遅れたという形になります。よろしいでしょうか。

以上です。

議 長（西 日出海 君）
9 番。

9 番（仲村 吉博 君）

順々に遅れていったということがわかったんですが、発注の遅れということ、我々の側です。町の側の発注が遅れていったというのはやむを得ない経過はわかりますけれども、具体的にはもう入札もかけて、何もかも済んでるということになるんですか。その点についてちゃんと説明してください。

それから、もちろんこれは繰越ですから、財源が明確になってるといけませんので、そのことの財源についても御説明ください。

議 長（西 日出海 君）
水道課長。

水道課長（山本 勝憲 君）

発注のほうは既に終わっておりまして、県の工事がきのう一般会計のほうでは、トンネルの開通も含めて8月ごろということ聞いておりまして、最終的にうちのほうが先ほどの工事工程でいけば、大体4月末ぐらいには終わるのかなということで、今、考えているところでございます。

それと、財源につきましては、一般会計のほうの補償費ということで、一部をいただくということですが、当然、マンホール自体はつくってから経年経過しておりますので、その分は償却が終わってるということで、補償費から差し引かれますので、全額という形ではございませんけど、一部は一般会計の補償費をいただくという形になっております。

以上です。

議 長（西 日出海 君）
ほかありませんか。

（「なし。」の声あり）

ないようですので、質疑を終わります。
これから討論を行います。

（「なし。」の声あり）

ないようですので、討論を終わります。
これから採決を行います。

議案第24号 平成28年度佐々町公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）は、原案のとおり可決することに異議ありませんか。

（「異議なし。」の声あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

- 日程第 7 議案第 25 号 平成 29 年度佐々町一般会計予算 —
- 日程第 8 議案第 26 号 平成 29 年度佐々町国民健康保険特別会計予算 —
- 日程第 9 議案第 27 号 平成 29 年度佐々町介護保険特別会計予算 —
- 日程第 10 議案第 28 号 平成 29 年度佐々町後期高齢者医療特別会計予算 —
- 日程第 11 議案第 29 号 平成 29 年度佐々町国民健康保険診療所特別会計予算 —
- 日程第 12 議案第 30 号 平成 29 年度佐々町公共下水道事業特別会計予算 —
- 日程第 13 議案第 31 号 平成 29 年度佐々町農業集落排水事業特別会計予算 —
- 日程第 14 議案第 32 号 平成 29 年度佐々町水道事業会計予算 —

議 長（西 日出海 君）

日程第 7、議案第 25 号 平成 29 年度佐々町一般会計予算。日程第 8、議案第 26 号 平成 29 年度佐々町国民健康保険特別会計予算。日程第 9、議案第 27 号 平成 29 年度佐々町介護保険特別会計予算。日程第 10、議案第 28 号 平成 29 年度佐々町後期高齢者医療特別会計予算。日程第 11、議案第 29 号 平成 29 年度佐々町国民健康保険診療所特別会計予算。日程第 12、議案第 30 号 平成 29 年度佐々町公共下水道事業特別会計予算。日程第 13、議案第 31 号 平成 29 年度佐々町農業集落排水事業特別会計予算。日程第 14、議案第 32 号 平成 29 年度佐々町水道事業会計予算。以上、8 議案を一括議題といたします。

提出者の説明を求めます。説明に当たっては、平成 29 年度施政の概要と予算説明書の説明を求めます。

説明の後、各会計のかがみの朗読を各担当課長、お願いいたします。

それでは、町長。

町 長（古庄 剛 君）

それでは、平成 29 年度の施政の概要と予算説明書を朗読させていただきます。

1 ページをお願いいたします。

平成 29 年度の国の予算の動向、国は一億総活躍社会の実現のための子育て、介護や成長戦略の鍵となる研究開発などの重要な政策課題や、東日本大震災や熊本地震を初めとする各地の災害から、復興や防災対応の強化などについては、必要な予算措置を講じる一方、2 年目に当たる経済財政計画に掲げる歳出予算改革などを着実に実行しており、予算編成においても歳出全般にわたり、聖域なき徹底した見直しを推進するなど、財政健全化への着実な取り組みを進めることにしております。

歳出改革においては、経済再生と財政健全化に資するよう、公的サービスの産業化、インセンティブ改革、公共サービスのイノベーションをいう 3 つの取り組みを中心に推進するとともに、見える化、徹底した情報開示の徹底、拡大に取り組むこととしております。

本県の財政状況と平成 29 年度以降の収支見通し、長崎県は県税などの自主財源に乏しく、歳入の多くを地方交付税や国庫支出金に依存しており、長崎県地域財政見通し平成 29 年度から平成 33 年度によると、県税は増加を見込んでいるものの、短期的には減少する場面もあること。平成 29 年度当初予算では、前年度比で減少、社会保障関係費の増加などにより、引き続き厳しい財政状況となっています。

このような状況下で、長崎県は持続可能な財政運営を目指して、行財政改革の着実な実施、地方税、財源の充実、強化など、これまでの取り組みに加えて、実質的な公債費の長期的なシミュレーションを踏まえた財政運営を行うなど、財政健全化に向けて対策を講じております。次のページをお願いします。

本町の財政状況と平成 29 年度以降の収支見通し、平成 27 年度決算において、財政構造の弾力

性を示す経常収支比率は前年度と比べ3.6ポイント増加、84.2%に増加したものの、財政健全化を示す各指標、実質赤字比率マイナスの8.5%、連結実施赤字比率マイナスの41.8%、実質公債費率6.2%、将来負担比率マイナスの102.0%を含めて、本町の財政状況はおおむね良好な状態になっています。

税収を基本として、現在のところ、安定的に経常一般財源を確保できていることや、臨時財政対策債を除く地方債現在高、基金現在高などを勘案すると、比較的安定した財政運営を行えることが見込まれます。

しかし、今後の社会保障関係費の増加への対応や、公共施設の老朽化対策、平成27年度に策定した佐々町総合計画後期計画（以下、後期計画）、佐々町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略）にも着実に取り組まなければならない、それらに安定的な財源が必要になります。また、景気の低迷による税収悪化なども考えられますので、引き続き国県補助金の確保など、歳入増に加えて、無駄の排除により、歳出減に取り組み、財源の確保に努めます。

平成29年度の予算編成、平成29年度当初予算は骨格予算であり、義務的経費の経常的経費や補助事業、継続事業を主に編成しております。平成29年度は後期計画の2年目かつ総合戦略の本格実施の2年目でもあります。総合戦略と同じく策定した佐々町長期人口ビジョンでは、2020年、平成32年までに人口を約500人増加させる合計特殊出生率を2020年、平成32年以降、2.07に引き上げるという目標を掲げており、それらの目標を達成するために以下の事業に取り組みます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

議 長（西 日出海 君）

それぞれ議案番号ごとに各課の課長のほうからかがみの朗読をお願いいたします。
企画財政課長。

総務理事兼企画財政課長（浦田 純一 君）

（議案第25号 朗読）

議 長（西 日出海 君）

保険環境課長。

保険環境課長（川崎 順二 君）

（議案第26号 朗読）

議 長（西 日出海 君）

次は、住民福祉課長。

住民福祉課長（大平 弘明 君）

（議案第27号 朗読）

議 長（西 日出海 君）

保険環境課長。

保険環境課長（川崎 順二 君）

（議案第28号 朗読）

議 長（西 日出海 君）
保険環境課長、続けて。

保険環境課長（川崎 順二 君）

（議案第29号 朗読）

議 長（西 日出海 君）
次は、水道課長。

水道課長（山本 勝憲 君）

（議案第30号 朗読）

議 長（西 日出海 君）
続けて、水道課長。

水道課長（山本 勝憲 君）

（議案第31号 朗読）

議 長（西 日出海 君）
もう一度、続けて、水道課長。

水道課長（山本 勝憲 君）

（議案第32号 朗読）

議 長（西 日出海 君）
お諮りします。本日の会議はこれで延会にしたいと思います。異議ありませんか。

（「異議なし。」の声あり）

異議なしと認めます。よって、本日はこれで延会することに決定しました。
本日はこれで延会いたします。

（11時39分 延会）